

議会だより

発行
座間味村議会
広報委員会
098-987-2143

令和8年度座間味村予算会議を終えて

一般会計は前年度とほぼ同額であるが、依然として国や県からの交付金が無ければ村政運営は出来ない状況です。又、交付金で足りないのは村債（借金）で賄うしかなく、その合計額が12億8,700万円となっている事に注視が必要。「村債＝住民サービス事業の投資」と捉えてください。インフラ整備や老朽化した施設等の修繕改修費が今後増える事が予測されます。3島1村だからこそ、他自治体よりもコストがかかる。村税の向上を図ると共に観光業での収益事業税が観光客数と整合性があるのかも今後注視していく。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

国保も一般会計からの繰入金が無いと運営出来ないのが現状である。保険料金の見直しが必要な段階だが、同時に「保険者努力支援制度」で国からの交付金を獲得する事も必要。具体的には、・保険税の徴収率・ジェネリック使用率・特定検診、保健指導の実施率・重症化予防への取り組み・データヘルス計画の実行などが評価されるため住民ひとりひとりの努力が必要である。詳しくは役場住民課まで！

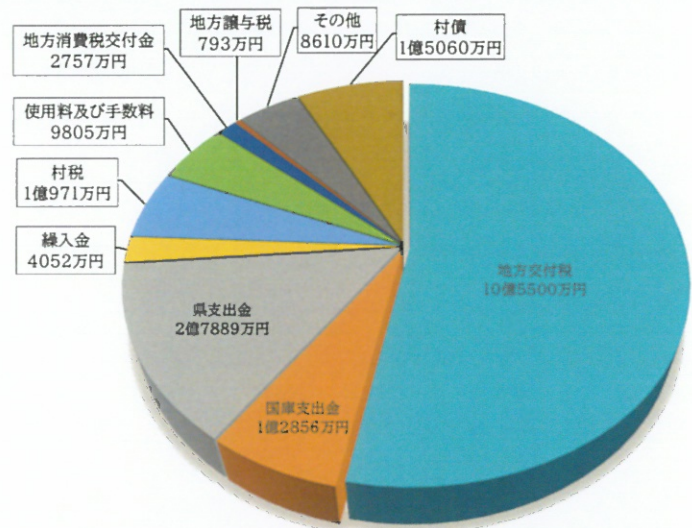
★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

企業会計の船舶では運賃改定を行ったが、昨今の世界的な燃料や資材の高騰に伴い厳しい経営は避けられない。下水道施設も経年劣化に対応するためストックマネジメントを導入し計画的に改修等が出来るように進める。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

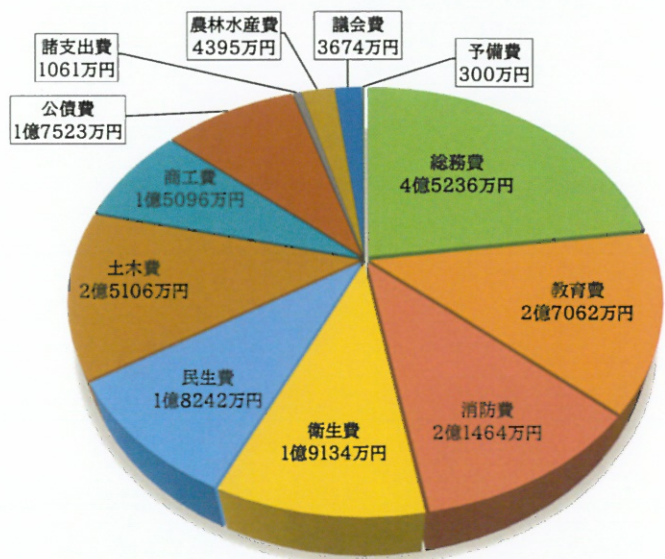
令和7年度より継続して行う事業として

- ・空き家対策計画の策定→住むところ問題解決に向け前進。
- ・阿真線落石対策事業→安全性の向上を図る。
- ・道路台帳のデジタル化→村道を電子化し、業務簡素化・管理運用の容易性を高める。
- ・自主防災組織づくり→消防団とは別に、各区に組織をつくり防災力強化を図る。



令和8年度一般会計内訳(歳入)
※グラフ内の数字は万円単位で表示します

総額19億8297万円



令和8年度一般会計内訳(歳出)
※グラフ内の数字は万円単位で表示します

総額19億8297万円

一般会計予算	19億8,200万円
特別会計	2億2,200万円 (国保・後期高齢者医療)
企業会計	17億5,600万円 (船舶・上下水道)

2026年3月10・11日

[illegible]

島人ぬ宝 No.11

今回は阿佐区で長年にわたり子供たちにピアノ教室を開いている、市村志津子さんをご紹介します。

36年前に、ご主人の仕事で真珠の養殖業を阿佐の安護の浦で行うため、ご家族で（お子さんが小1・小2の時）移住してきました。当初、予想外の出来事があり大変だったと思います。

座間味に来る前は、五島列島や対馬で中学校の音楽の教師をしていたので、島暮らしは慣れていたものの、沖縄は、独特な風習や習慣があつて慣れるのが移住者として苦労もあつたそう。子育てや教育でも小規模による良い面と悪い面があつたが一長一短だと思つたと話されていました。

ピアノ教室は島のおかあさん方の希望があつたことが、きっかけでした。加えてこの島でピアノを持つている家庭が何軒かありました。

一時期、自身のお子さんの高校進学等で島を離れましたが、戻られてからも教室は続け多くの子供達を島から送り出しています。毎年ピアノ発表会を開催し、今年で23回目になりました。

親子の連弾やその子にあつた曲を選び発表することで演奏の楽し

さを通し、自信をつけ成長する姿を地域の人達にも見せて頂いていきます。

「今の子供達は忙しすぎるが、その中で頑張つて練習して、人前で発表することで、努力が実になり達成感を実感できる。決して無駄にならず、その子のこれからの人生の財産になると確信している」

「この島で気軽に、地域の施設の中に図書室があつたり、文化的な面でもっと触れられる場所があつたら日々の生活の中で励みとなり豊かな生活ができるのではないかと思う」

「これからもピアノを習いたいという子供がいる限り、頑張りたい」と地域に根差し活躍されています。ご自身は趣味の琉舞で沖縄の文化も堪能している志津子さんでした。

（記事：又吉文江）



6月定例議会のお知らせ

日時／6月10日(水)
場所／役場二階
座間味村議会議場

傍聴に来られる方は当日午前9時50分までに受付を済ませてください。（午後からの傍聴を希望する方も受付時間は同じです）

議会が始まってからの入退場は、休憩時間以外できません。

時間厳守、私語及び撮影録音も禁止になります。

なお、都合により時間を変更することもあります。

役場掲示板で確認をお願いします。



こちらのQRコードから
議会会議録ページへいけます。

議長の出張日程(公務)

2/10	南部広域行政組合議会 全員協議会
2/12	南部広域市町村事務組合 議会定例会
2/24	沖縄県議会議員会 第55回定期総会
2/25	沖縄県離島振興市町村 議会議員会17回定期総会
4/28	沖縄振興拡大会議／南部 離島町村長議長連絡協議会
5/11	南部広域行政組合議会

編集後記

「議会だより」を発行して4年目に入る今年。

これまで手作業で文字起こしを行い、要約に頭を悩ませて作成してきましたが、遂に生成AIを活用しました。

これまで数日かけていた作業が1時間もあれば完了。物凄い時短を実感しています。

皆様も煩雑な事務作業などを生成AIに置き換える事をお勧めします。（※生成AIにも種類がありますので調べる事が必要です）3月議会も終え、令和8年度予算も可決し、今年度が始まりました。

今年は村議員選挙及び県知事選挙の年です。日々の生活を守りながら政界情勢にも危惧しなければいけない忙しい一年になりそうです。

何事にも慌てず、予測を立てて常にプランB、プランCの選択肢をもつことを心掛けたいと思います。

（西田吉之介）



Q. 村政を問う！

令和 8 年 第 1 回定例会 一般質問

今回の一般質問はこれだ!!



座間味

宮平清志

質問 座間味西側の船上げ場(巻き上げ機)について、以前にも座間味西側の巻き上げ機の件で質問しましたが、船舶所有者からの要望は更に強くなっています。毎年、少しずつ船も増加し、台風対策に入る時は、皆さん時間帯も重なり中々スムーズにいかず、夕方暗くなるまで対策に時間が掛かる事もあります。

設置にむけての交渉の現状はどのような感じでしょうか伺います。

答 今年度（R25 年度）4 月に県港湾課が来村した際に、口頭にて要望を申し上げました。

8月の県とのヒヤリングの際には紙媒体で提出致しました内容としては、現在利用されていない西側テニスコートに船揚げ場の整備と巻き上げ機の設置を要望致しました。また年明けに開催されます、県土木建築部との行政懇談会でも事前に要望書を提出しております。

県予算にも配分がありますので、継続して要望いたします。合わせてゲストバスについても継続しております。

質問 東側はかなり前から設置されていて、西側とは大きな差があり、かなり苦勞されてますのでスムーズに設置できるように願っています。各区長及び監査員の報酬見直しについて、全国的に 2019 年からのコロナ禍において様々な業種において、報酬などの引き下げがあったのを記憶しております。

各区長についても、たしか9万円程あった報酬が、6万円まで下がったままだと伺っております、昨今の物価高騰によって業務の質と量も変化し、職責の重さと思合っていないと思います。

また、村の監査員についても職責の重さで見合っていないと感じます。

今後、適切な知識を持った人材を確保するために報酬を適正化する必要があると思いますが、見解を伺います。

答 まず、区長については報酬ではなく、行政事務委託料となります。

阿嘉 - 慶留間出張所が設置された事でこれまで区

長への事務委託（掲示物や広報誌の配布等）の業務を職員が行ったり DX 化等によって、業務軽減となり委託料も減額となりました。

増額については各区の会費での調整になるかと思っています。

監査員については近隣自治体と比較したうえで、格差がほとんどありませんので見直しは行っておりませんが、改定があれば近隣自治体とバランスをとりながら見直したいと思います。

質問 監査員に限らず、他の関連する委員会などでも必要性があれば、合わせてご検討頂ければと思います。村長からも見解を伺います。

村長 先程、担当課長からも近隣自治体との比較とありましたが、当村としては必ずしもそれに合わせるとかではなくて、区長や関連する委員また議員の皆様に関しても、昨今の物価高騰や職責の重さなど、色々な視点での考え方があると思いますので、各団体と意見交換し、庁内でも議論しながら必要であればそれなりの措置を講じたいと思います

質問 近隣自治体との調整も大事だと思いますが、先程申し上げた通り今後の人材を確保する為にも、報酬を適正化する方向へ議論して頂ければと思います。



阿嘉

垣花太郎

質問 海水淡水化施設の水が給湯器の故障の原因ではないかという件で、県企業局から過去に説明会はあったもののその後、工事関係者から「ボイラーを設置した施設で故障が相次ぎ、1年も経たずに複数件壊れている」との情報がある。今後、座間味島でも同様の故障が発生するのではないかと不安があり、この点について県から新たな説明や見解があるのかを確認したい。

答 昨年 6 月に企業局が現地で説明会を実施し、水質は基準内（塩分濃度も基準 200 に対し約 80 で問題なし）であり、腐食に関する指数も沖縄本島と同等

令和8年度 第1回定例議会 議案採決結果

2026年3月10・11日

[illegible]

の対象になる事は確認していますが、実施期間が確定できないので仮設で対応するか、早急に対策を講じていきたいと思っています。

質問 この件はだいぶ前にも質問していますが、当時はまだ門扉の形状は残っていて、動かない状態でしたが、現在の入り口は何もなく、誰でも自由に入れる状況です。応急処置としてチェーンをはり、立ち入り禁止の看板を立てるだけでも抑止に繋がるので早めの対応をお願いします。

答 以前にご指摘がありました、対応が出来ていなくて大変申し訳なく思っております。今ご指摘いただいた仮設の対応を早急に実施したいと思っています。



座間味

又吉文江

質問 地域おこし協力隊について、国の支援で行っている人材派遣制度。全国や県内離島で活用が進むなか、本村でこれまで導入してこなかった理由は、また空き家対策や子育て支援の専門資格を持つ人材（不動産・福祉・保育・等）の確保など今後の導入検討があるか伺う。

答 地域おこし協力隊については制度の有効性は認識しており現状では住宅不足が最大の課題であり導入には至っていない。今後環境整備が整えば活用を検討する。

村長 一方で本村はジェットプログラム外国人の先生や船舶、観光協会で働く外国人について制度は違うのですが交付税措置がとれる人材派遣をどこより先行して行っております。

質問 私がお願いしているのは島に足りない専門分野の方が地域おこし協力隊で来ていただけないかと、それも村の負担がほぼない国の制度を使ってということ。空き家対策を円滑に進めるうえでも不動産鑑定士や、子育て支援や福祉では保育士幼稚園教諭介護士もそうです。

村長 そういった専門性の方が来ていただけると非常にありがたいと重々承知しております。その点も含めしっかり検討勉強し人材確保に努めてまいります。

質問 空き家対策について、「空き家」になる前の予防的な対策も必要ではないか。例えば単身高齢者の世帯に部屋が余っていれば若い人を同居させ家賃収入が入る。見守り支援にもつながる。リフォーム資金

の援助等村で検討するなど必要でないでしょうか。

答 今後の検討課題としたい。

質問 船舶事業会計でのアウトソーシングに係る費用について、企業会計移行後決算状況を踏まえ人件費や燃料費の推移をどのように分析しているのか運賃値上げの妥当性は十分に検証されたかを問う。併せチケット販売等の業務委託における随時契約について、その透明性、公平性、今後一般入札可能性があるか問う。

答 企業会計の移行の過渡期であり従来との単純比較は難しいが、燃料費や修繕費の増加を踏まえ運賃改正を行った。

村長 随時契約に関しては業務の継続性や信頼性を重視しつつ適正な精算と協議に基づき実施しており、透明性の確保に努めている。将来的に那覇事務所の広域連携等も含め効率化の検討してゆく。

質問 今後も経営状況は注視したいと思います。ライフセーバーの阿嘉島へ村内航路の免除、ビーチパトロールでの「みつしま」移動時、村民割引はなく観光客と同じ料金で毎日通うので免除、減免等出来るか。

答 契約時に交通費も含めた契約であることからそれはできない。

質問 家庭的保育所の入所について、下の子を出産後三か月過ぎると上の子の継続的な保育ができなくなることに、子育て支援の観点から、祖父母の支援がない方や、あっても家族経営で祖父母も働かなくてはいけない、また上の子の安定した環境を守る上でも継続保育が必要と思われるが。

答 制度上保育を必要とする事由がなくなるためです。

質問 この制度各自治体の判断だと追記してある。もっと柔軟対応はできませんか？こんなでは国の政策少子化対策に逆走する。せっかく2子3子と子供を産もうとする気持ちが座間味村では失せてしまう。

答 個別事情に応じた聞き取りと実態調査判断により柔軟な対応をしたこともあり、またこれからも検討します。

質問 来年はいまゼロ歳のたくさんのお子様が1歳2歳と上がって来ます。是非本気になって力を入れて子育て環境を整えてもらいたと思います。次に教育委員会の実施要項では長期休み期間中の預かり保育は夏休みだけになっています。春休み冬休みも希望があればやっていただけますか。

答 現場からはこのような相談等も現在把握していないので今後検討していきたいと思っています。

副村長 今後必要性は感じている。教育委員会とすり合わせ子育て支援に協力できるよう検討する。

討していきたいと思っています。

質問 観光客や住民から阿嘉島の交通手段の不便さ（港から北浜ビーチへの移動や空港へのアクセスなど）に対する不満が多く、自動運転バスの導入提案が出されている。国の高い補助制度もある中で、今後どのように交通改善や自動運転導入を検討していくのか、方針を確認したい。

答 ご指摘の課題については認識しており、現在、一括交付金を活用し、令和4年度からバス運転手の確保に取り組んでおります。令和7年度には新たに5名が確保できたことから、阿嘉島での運行開始に向けて準備を進めているところです。

しかしながら、現状の人員では十分な運行体制を確保するには至っていないため、引き続き次年度以降も運転手の確保に努め、交通環境の改善に取り組んでまいります。

質問 阿嘉島における公共交通の未整備や移動手段の不便さの解消策として、自動運転バスの導入提案が出ている。運転手不足の解消や環境負荷低減などの効果も期待される中、今後、村として自動運転の導入をどのように検討し、取り組んでいくのか村長の見解を伺う。

村長 阿嘉一慶留間の交通課題については、まずは現実的に早期実現可能な手段として、運転手の確保を最優先に、既存バスの運行開始を目指す考えである。令和7年度には大型二種免許取得者が5名確保されており、運行体制の整備を進めていく。

一方で、自動運転については将来的な有効な選択肢と認識しており、海外や国内の技術動向、安全性、財政面を見極めながら、関係企業の情報も踏まえつつ、総合的に導入の可能性を検討していく方針である。

質問 自動運転バスは補助制度の活用により導入コストも比較的抑えられ、運転手不要による経費削減効果も期待できることから、早期に投資回収が可能と考える。過去にもキャッシュレス化や船舶導入など、新しい取り組みは当初反対がありながらも現在は不可欠なものとなっている。

時代に取り残されないためにも、先行投資として自動運転の導入を積極的に検討すべきではないか、見解を伺う。

村長 地域公共交通は「安全・安心な運行」が最優先であり、その前提のもとで経済性や技術革新の動向を総合的に勘案していく考えである。自動運転については有効な可能性を認識しつつも、現時点では実証段階や課題も多いため、道路環境や安全性、運用面などを含め慎重に判断する必要がある。

今後は情報収集を進めながら、導入が本村にとって有効と判断される段階で適切に対応し、将来の交通体系の構築に取り組んでいく方針である。

との説明を受けた。しかし、阿嘉島で発生しているボイラーや配管の腐食については、現時点で原因は特定されていない。

今後は腐食の発生件数や状況を整理して報告し、それを基に企業局が改めて説明対応を検討する予定である。

質問 故障が続き不信感が高まっているため、水質への疑念も含め、県に対し関係者が納得できる説明を求めている。具体的な説明を行う必要があり、その対応は可能か。

答 現在、故障や腐食の原因は特定できておらず、水質や塩分濃度、ランゲリア指数も基準内であるため、水質が直接の原因とは断定できない状況である。そのため現時点では明確な説明が難しく、まずは故障件数や腐食箇所、発生状況（全体か特定機器か）などの詳細情報を収集する必要がある。これらを整理・報告した上で、企業局と連携し、今後の説明対応を検討していく方針である。

質問 ボイラーの品質（価格や材質）による影響を指摘する声もあるため、誤解やトラブルを防ぐためにも、専門的な調査を行ったうえで、原因を明確にし、納得できる形で説明・報告してほしい。

答 本件につきましては、当方が直接調査・判断できる立場にはなく、水の供給に起因する可能性がある場合には、給水局の所管事項となります。そのため、まずは腐食の発生状況（発生件数、発生時期、腐食箇所や程度等）の詳細な情報をご提供いただき、それを基に給水局へ報告いたします。今後は、必要に応じて現地調査や説明対応の実施について給水局と協議し、適切に対応してまいります。

質問 観光地に放置されている家電製品についてその後どういう形で片付けられたのか教えていただきたいと思っています。

答 当該不法投棄物は移動指示済みですが、草木の伐採が必要なため、業者の都合により4月以降に伐採後、撤去を行う予定です。

質問 公共施設における放置車両がその後どうなっているのか確認します。

答 県の南部農林事務所によると、定期的に本人と連絡は取っているとのことでした。今後は法的措置を含め早急に撤去していただくよう対応していくと返事をいただいております。

質問 村道に複数の放置バイク(7~8台)が置かれ、通行止め状態になっている問題が指摘されている。住民からも苦情が出ており、今後対応してもらえるのか確認を求める。

答 我々も確認しております。どうするのか今後検



阿 嘉

西田 吉之介

質問 村長五期目の四年間は、本村の将来を左右する重要な期間です。座間味村が「小さくても強い村」を目指すのか、現状維持を基本とするのか、その方向性を明確にする必要があります。その指針となる第五次総合計画および現在策定中の第三期総合戦略を踏まえ、本日は前身である第二期総合戦略の成果と課題について確認いたします。各施策・事業の成果状況について伺います。

答 第二期総合戦略の事業実施状況は、約6割が概ね実施された一方で、約4割が未達成または十分に組み立てていない結果となっています。特に、交流施策や子育て・医療支援に一定の成果が見られましたが、事業目的の曖昧さや認識不足により、事業者支援などは十分な成果に至っていない状況です。

質問 実行計画や数値目標、責任体制の不足が課題です。中でも最優先は住宅問題です。空き家活用の具体的な実行計画、数値目標、責任体制について伺います。

答 今年度、委託で空き家対策の実行計画を策定中であり、三月内には完成の予定となっております。

質問 現時点での各区における空き家の件数を伺います。

答 座間味区が9件、阿佐区2件、阿真区4件、阿嘉区22件、慶留間区5件となっております。合計42件となっております。

質問 42件を4年間でどのように流通させていくのか、具体的な数値目標を各年ごとにお伺いします。

答 4年間で12件、年3件以上を目標として空き家の利活用と考えております。

質問 空き家問題は行政だけでは解決できないため、誰が何をどこまで、いつまでに行うのか、その責任構造について伺います。

答 空き家対策は村が主体となり、所有者の意向把握を進めつつ、地域と連携して利活用を図っていく考えです。

質問 地域連携の一環として、区長に具体的に何を担ってもらうのか伺います。

答 区長も協議会に参加し、意見交換を通じて課題のギャップを共有しながら、相談窓口の設置も含め、所有者と連携して空き家対策を進めていく考えです。

質問 空き家対策は個別事情により調整が難しい中で、行政の役割は区長や所有者との協議の場を設けることとの認識でよいかわかります。

答 相談窓口を設置し、所有者や地域の方々から情報提供をいただけるようにしていけたらと考えております。

質問 地域住民にやってもらいたいことがあるのか伺いたいと思います。

答 空き家は利活用可能なものと管理が必要なものに分け、村と地域が連携し、所有者への指導や協力を得ながら対応していく考えです。

質問 空き家活用の数値目標を確実に達成するため、行政内外を含めた専属組織の設置が必要か伺います。

答 空き家活用は9年度から本格実施し、組織設置は相談状況に応じて柔軟に検討・対応していく考えです。

質問 総務課長の言う相談窓口は、県が開くものですか？村内に担当職員を置いての相談窓口ということになりますか。

答 県にも相談口はありますが、村独自で相談窓口と村のHPを活用しながら役場が持っている空き家の情報と皆様が提供してくれる情報を照らし合わせながら取り組んでいけたらと考えております。

質問 空き家所有者に対し、誰がどのような方法で具体的にアプローチするのか伺います。

答 まずアンケートで所有者の意向を把握・分析し、その結果をもとに村が主体となってアプローチします。必要に応じて地域の関係者とも連携し、交渉を進めていく考えです。

質問 空き家活用が進まない背景には、所有者が親族間で意思決定できない課題があります。人口減少や住宅不足の実情を共有するため、新聞やニュースなどメディアを活用し、危機感を広く伝える取り組みが必要と考えますが、可能かわかります。

答 県の取り組みも活用しつつ、新聞・テレビなどのメディア活用を検討し、総合戦略に基づいたPRで空き家所有者の理解促進を図っていく考えです。

質問 令和9年度から4年かけて1年間約3件ずつとありましたが、1件当たりの修繕改修費に村がいくら補助できるのか？国の交付金等が活用できないかわかります。

答 県の支援制度により1件あたり約400万円の補助が見込まれていますが改修費用は物件ごとに異なるため村としての負担のあり方については今後検討が必要です。

質問 4年間で目標の12件となると4,800万ですが、県に対してこの予算確保はできますか。

答 県の支援は離島間での優先順位も想定されるため、本村としても着実な実績づくりが重要です。特に、まずは3件の確保を目標に、確実な事業実施に取り組んでいく考えです。

質問 家主へのアンケート調査結果がありましたが区ごとに教えてください。

答 アンケートを出したのは42件。回答15件。座間味区3件、阿真区2件、阿佐区1件、阿嘉区8件、慶留間区1件となっております。

質問 空き家対策では、意向調査の徹底とともに、実行計画・数値目標・責任体制の明確化が重要であります。今後の着実な取り組みをお願いします。次の質問に行きます。これからの観光について、観光客増加による環境負荷を踏まえ、将来的な入域制限や予約制エリアの導入、遊泳・シュノーケリング区域の人数制限、ビーチの事前登録制の必要性について伺います。

答 現在、環境保全活動等は各マリンレジャー団体において行っている現状です。人数制限やビーチ事前登録制などはエコツーリズム推進法において可能になると思われます。しかし、事前登録制のビーチ等の検討については、関係事業者等との幅広い意見を聞く必要があると考えています。今後、検討する余地はあるのかなと思います。

質問 昨年12万人を超える観光客に伴い、海洋環境への負荷が懸念されることから、自然環境が保たれている今の段階で、持続可能な観光のあり方を早期に検討・推進する必要性があると思います。また、ごみ問題についても発生抑制の視点が重要であるとし、「ごみをためない」だけでなく「持ち込ませない・持ち帰らせる」仕組みづくりなど、本村のごみ削減に向けた見解を伺います。

答 これまで分別やりサイクル、環境教育などに取り組んできたが、処理費用は増加している。今後は住民・事業者・来島者への意識啓発を強化し、ごみの発生抑制と資源化をさらに推進していく考えです。

質問 観光客増加に伴うごみ問題に対し、他地域の事例を踏まえ、「ごみを出さない仕組みづくり」や宣言活動、マイボトル文化の推進などが必要と考えます。あわせて、ごみ処理の負担など課題も含めて発信し、理解ある観光客の誘致について見解を伺います。

村長 ごみ削減は財政負担の軽減と環境美化の両面で重要と認識しており、これまでもごみ箱設置の工夫や歩きたばこ禁止などの対策を実施してきました。今後は給水スポットなどの先進事例も参考にしつつ、税制度の検討も含め、環境保全と観光の両立に向けた取り組みを総合的に進めていく考えです。

質問 幅広く意見を抽出する提案です。・各団体の定例会でテーマについて意見交換を実施（10分と決める）月1の定例会なら年12回。偶数月にまとめた意見の提出。内容や取り組みに応じたインセンティブ付与。予算の検討よろしくをお願いします。

村長 環境省やビジターセンター、ステップアッププログラムを活用し、関係団体と連携した勉強会で課題提起を行い、方向性を整理した上で各団体へ共有し、取組を進めていく考えです。

質問 学校適正規模適正配置の進捗を伺います。

答 去った令和8年2月24日に慶留間島、阿嘉島において意見交換会を開催しました。教育委員会から基本方針の説明と他市町村の事例の紹介後、意見交換会を行うことができました。今後も引き続き意見交換会を開催してまいります。

教育長 西田議員には議員就任当初から教育行政に非常に関心を持っていただいていたことありがとうございます。私の任期も今月末で退任となりますので、2月の意見交換会の内容も含め、これまで議論してきた事を新しい教育長に引き継ぎをさせていただきます。今後は村民、区民として相談をできることがあれば、いつでもお受けしたいと思います。子供たちにとって何が一番いい教育なのかというのを、皆さんで引き出していければというふうに思います。

慶留間

中村 秀 克



質問 慶留間地区の下水道処理場の門扉が破損しています。早急に改修が必要だと思いましたが対応を伺います。

答 慶留間下水処理場入口門扉につきまして、施設の保全と安全確保の観点から入口の扉は施錠されるのが望ましいと認識しています。慶留間下水処理場に関しましては村長の施政方針にもありました補助事業を活用した老朽化対策を令和9年度をめどに予算化をしている状況です。扉の破損部分は補助事業